

2012年(平成24年)9月19日 水曜日

# HELLO ウォーキングカフェ **ippo**

## 東郷湖畔

### プロジェクト進行中

日本初のウォーキングカフェ「ippo」が湯梨浜町南谷の東郷湖畔にオープンしてもうすぐ1カ月。「天然素材100%の健康食×ウォーキングで健康になる」をコンセプトにしたカフェは連日多くの人でにぎわっている。フロアを切り盛りするのは店長、山崎綾香さん(24)＝倉吉市上井＝。料理は藤平実喜さん(27)＝同市伊木＝が担当している。はわい温泉、東郷温泉を含めた湖畔一帯を「ウォーキングリゾート」と呼び、地域を元気にするプロジェクトの拠点施設として担う責任は大きい。

どちらもことし4月に関西からUターンしたばかり。山崎さんは地元の高校を卒業後、美容師を目指して大阪へ。念願の美容師になったものの薬剤アレルギーで仕事を続けることを断念せざるを得なくなった。リテアートに興味があり大阪で勉強しようとしていたところ、カフェがオープンすることを知った。ウッドテラスから東郷池が一望できるロケーションが一目で気に入った。「人を喜ばせる仕事をしたい」という目標が実現できるのでは」とUターンを決めた。

中学生的ころからお菓子作りを始めた藤平さんも高校卒業後、大阪の専門学校へ。神戸を代表するス



### 藤平実喜さん

(27)＝倉吉市＝



### 山崎綾香さん

(24)＝倉吉市＝



日本初のウォーキングカフェとしてオープンした「ippo」を中心となって切り盛りする2人

イツ店で約8年間働いた。神戸生まれの夫が「田舎で暮らしたい」と望んだことがUターンのきっかけ

となった。どんなカフェになるのか、頭の中は真っ白で不安だったが、改装などにも関わり形ができていくうちに「自分のやるべきことが見

店長の山崎さん。「いろいろな方に助けられ支えられ、ここまで来ました。恩返しができるよう頑張りたい」と笑顔で話す

えてきた」と話す山崎さん。2人ともオープンまでにノルディックウォークのインストラクターの資格も取得した。料理は県産の素材にこだわり、レシピ提供者である東京在住の料理研究家の自宅に泊まり込みで調理合宿もこなした。試食を繰り返して現場での実地研修も入念にした。

オープンしてから好評の日々。藤平さんは「すべて一から作っていて体にいいものばかり。厨房からお客さまの顔がダイレクトに見えるので、笑顔で食べてくれているうれし」と話す。

「スイーツを充実させてショーケースを今より大きなものにすること。ここに来たらおいしいデザートがあると思ってもらえるようになること」とメニューの充実には思いをはせる。

山崎さんは「いろんな世代の方に来ていただいて、スタッフ一人一人を好きになってもえたら。そしてぜひウォーキングも楽しんでほしい。教室なども計画していきます」と、やる気十分だ。

「厨房からお客さまの顔が見えるので緊張します。もっとスイーツを充実させたい」と料理を担当する藤平さん

## 県産こだわり天然素材100%

### 編集室

〇：「ippo」のウッドテラスに立ったとき、東郷池の美しさに息をのんだ。一番初めの取材はオープン前の夏の日の夕方。東郷池はオレインジ色に染まりつつあった。そして、魚釣りをする人が次々と訪れるのも驚きだった。あれがマイナーな場所じゃなかったんだ…。先日、ランチを食べに行ったら満席だった。さて、料理の方は…。百聞は一見にしかず。ぜひ、足を運んでみて下さい。(中野本社・吉浦雅子)